



June 10-13, 2019 | Grand Rapids, MI

NOISE AND VIBRATION

CONFERENCE & EXHIBITION

M2 小口瞳史

学会の概要

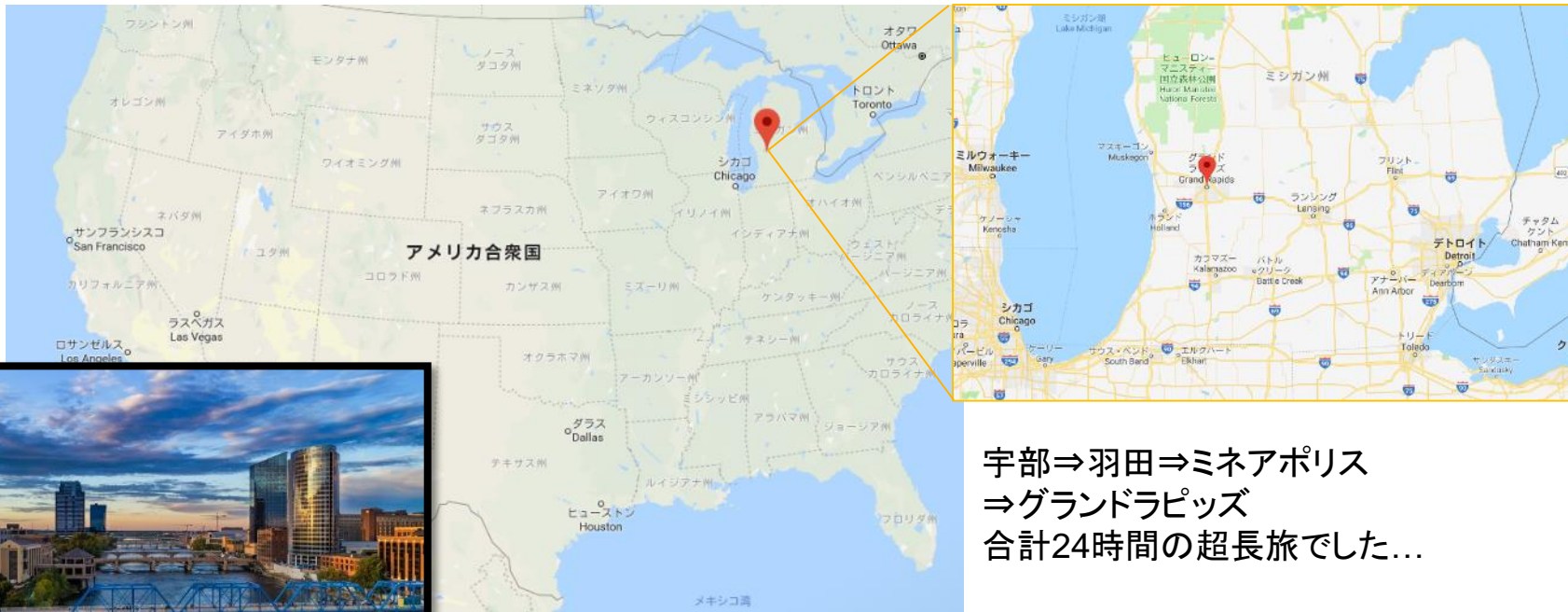


SAE INTERNATIONAL HPより

Society of Automotive Engineers: アメリカにおける自動車技術会です。
今回の学会はNoise and Vibration Conference & Exhibitionの名が示す通り、自動車の振動・騒音に特化した学会です。
自動車用ディーゼルエンジンの騒音を研究している私にとってはまたとない機会！！と気合を入れて参加しました。

学会の概要

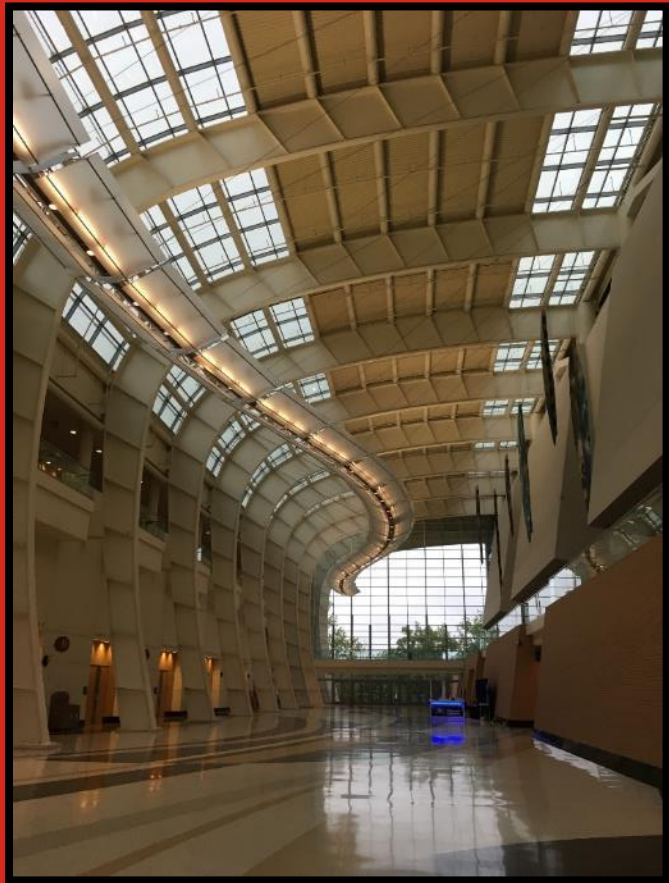
会場のグランドラピッズは自動車の街デトロイトから程近く、ミシガン湖沿岸にあります。



宇部⇒羽田⇒ミネアポリス
⇒グランドラピッズ
合計24時間の超長旅でした...

<https://livability.com/>より

学会会場: DeVos Place Convention Center and Performance Hall



SAE INTERNATIONAL



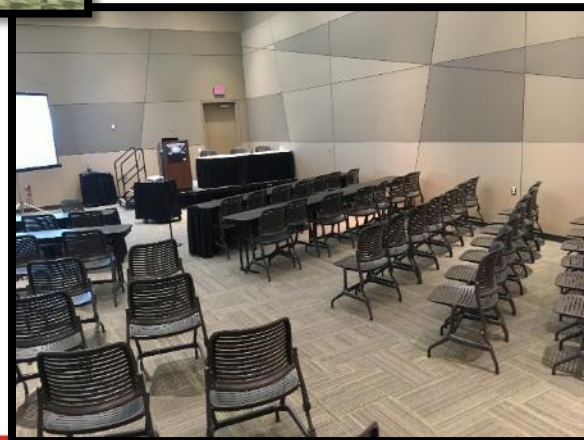
👉大会場

👉広い&綺麗!

小会場👉
ここで発表
しました。

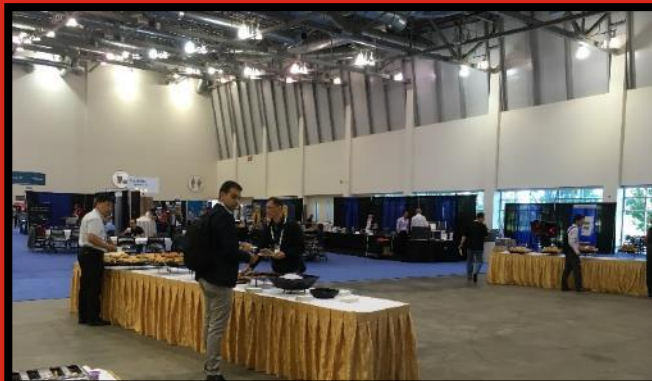


👉ペプシ
飲み放題



Yamaguchi University

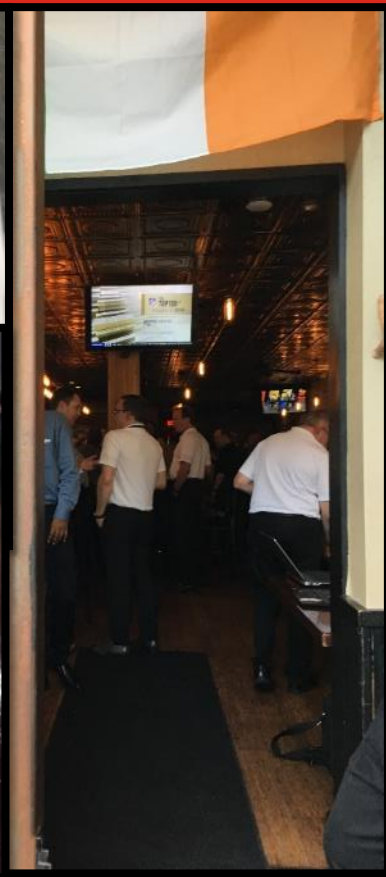
バンケット



バンケットのみならず、
昼食も会場で
頂きました。
色々な企業や大学の
方と話す
絶好の機会でした。



二次会は ☺
アイリッシュパブで。
楽しく飲みすぎて
バンケットの写真は
ありません！



その他



①企業ブースでは多数のパーツメーカー、計測機器メーカーなどが出展していました。一番面白かったのはhpの3Dプリンタです。これら全て3Dプリンタ製！

アメリカといえばステーキ！ということで②足を運んだステーキハウス。最高でした。



大谷翔平サイクルヒットのニュースは③現地でも大きく取り上げられていました。



発表内容

Oguchi et al., “The influence of connecting-rod specifications on the combustion-noise generation from a diesel engine”,
SAE Technical Paper 2019-01-1590

コンロッド仕様が騒音にどう影響するか，振動伝達率
という観点から調査した内容を発表しました。

👉 二種類のコンロッド

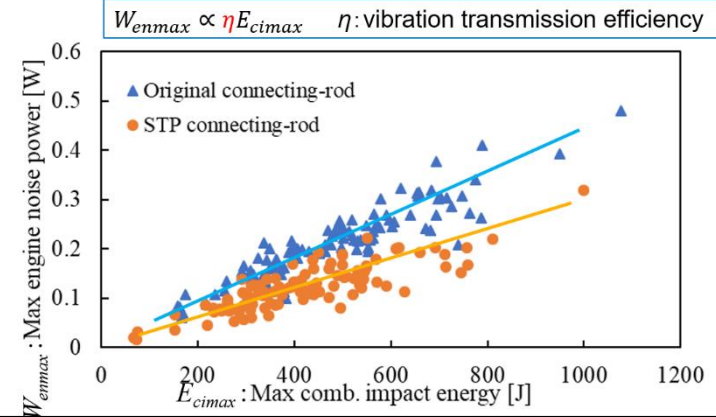
オリジナル
コンロッド



STP
コンロッド

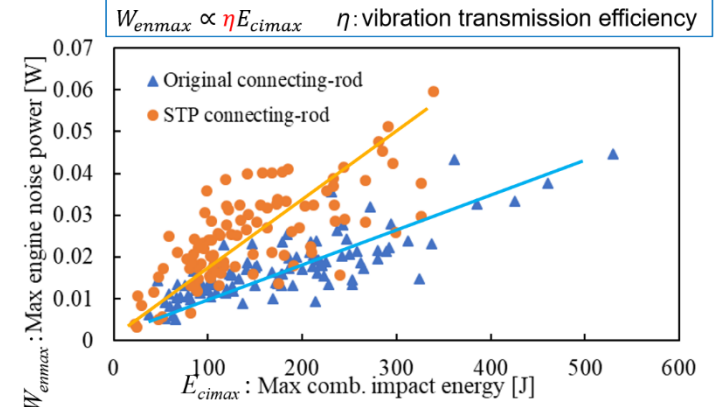


W_{enmax} & E_{cimmax} 2500 Hz 1/3 OTB



👉 コンロッドによる振動伝達率の違い👈

W_{enmax} & E_{cimmax} 3150 Hz 1/3 OTB



学会に参加して

初めての国際学会、初めての英語での学会発表となりましたが、堂々と自信をもって発表することができたと思います。しかし、発表後の質疑応答において内容に踏み込んだ質問が頂けませんでした。それは視聴者に理解してもらえ、興味を持ってもらえるに十分な発表の仕方・英語表現力ではなかったということに他なりません。振動騒音のプロフェッショナルと議論ができなかったことへの悔しさが残りました。しかし、悔しいと感じることは向上心があることだと前向きに捉え、次の国際学会では活発な議論が起きるような発表を目指して頑張ります。

バンケット等でたくさんの方とお話する機会がありましたが、ネイティブの英語話者とネイティブスピードで会話するのは本当に大変でした。それでもある程度食らいついていけるだけの英語力は持っていることを確認できたので、これを自信に今後も英語力向上に努めます。

普段はマイノリティとなりがちな振動騒音分野の話を多く聞くことが出来、非常に勉強になると共に自分の研究への大きなモチベーションとなる学会でした。

学会発表に向けて多大なるご支援と温かいご指導を賜りました三上先生、瀬尾先生に御礼申し上げます。また、発表練習に付き合ってくださいました研究室の皆様感謝いたします。

ありがとうございました！